（別紙4（2））

事業所名　グループホーム八幡の里

目標達成計画

作成日：　平成　27　年　12　月 5 日

目標達成計画は、**自己評価及び外部評価結果をもとに**職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束を行わないケアを掲げているが、居室内に、ベッド柵が3本ある部屋もあった。安全性に配慮した対応だが、見栄えとして良くない。	第三者が見て、安心できる環境作りに努めたい。注意と工夫をして、取り組みを続けていきたい。	定期的に委員会を開催して、正しい知識を理解して、身体拘束を行わないケアを考えていく。また、対応を検討していく。 年間の研修計画に組み込み、職員の入れ替わりがあっても、対応を統一できるできるようにする。	6ヶ月
2	35	災害時の対応の強化と、継続的に地域と協力できる体制を作る。	非常災害時に、地域と共同して支え合えるように、継続的に意見交換をする。	年2回の避難訓練で、町内の方にも参加してもらえるように、町内会長と調整をする。 地域の防災訓練に参加をする。	6ヶ月
3	54	居室のオシメ・紙パンツ・パット類が収納されていない。収納スペースがないので、「使っている」ということがわからない配慮が必要。	入居者の生活スタイルに合わせて、見えない工夫をしていく。	収納ボックスの購入を家族に依頼する。 施設でできる対応を行い、入居者の自尊心に配慮した、環境作りをする。 職員が意識をして環境整備に力を入れる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。